

2.川遊びの約束

(水の中で遊ぶとき)

ライフジャケットを着よう

水の中は息ができない。どんなことがあっても息が出来るように、浮力を身に付けるためライフジャケットを着ておこう。自分の身を守るために。



はだしで川の中に入らない

川の中はとがった石やガラスなどキケンなものが落ちている。リバーシューズやズック靴にくつしたをはいたまま水に入ろう。サンダルはすべてキケン。



大切なモノは身につけないようにしましょう

時計、携帯電話、財布などを身につけたまま水に入らないようにしましょう。うっかり携帯電話などをポケットに入れたまま川に入ると、緊急時に連絡が取れなくなるよ。



川の中を歩くときはすり足で

川底はグラグラした石や、ツルツルしたコケで滑りやすいよ。川の中を歩くときはすり足で、川底の安全を確認しながら、小さな歩幅でバランスを取りながら歩こう。



水圧(水の流れが押し力)があることに気を付けよう

川はプールとちがって流れがあるよ。流れによって押しつけられる水圧によって足もとが押さえつけられて、動けなくなることもある。また、強烈な水圧でブロックや木の枝に引っかかって自分の力では脱出出来なくなるよ。



3.危険なところ



こんなところに注意しよう



川岸にあるコンクリート護岸や階段は、コケや水で滑りやすいことがあるので、歩くときは注意して歩こう。



川岸にあるコンクリートブロックは、コケや水で滑りやすいので、近づかないこと。



港などの船が止まっているところは、立入禁止です。あみやロープに足を引っかけたりして危険。船に勝手に乗るのは絶対やめようね。



川には横から流れ込む水路のゲートなど、いろんな構造物があるよ。滑って落ちると危険なので立入禁止だよ。



きけん
3.危険なところ

ちゅうい
こんなところに注意しよう



せ あさ なが はや すいめん
瀬は浅くて、流れが速く、水面に
なみ た なが はや
波が立っているところ。流れが速
いところでは、足がとられることが
あるので注意しよう。



ふち すいしん ふか すいめん
淵は水深が深く、水面もおだやか
なところ。淵は急に深くなっている
ことがあるので、注意しよう。



せき した だんさ なが お
堰の下など段差があり、流れが落ち
込んでいるところは、その下流で水
が縦方向に渦を巻いているので、飲
み込まれて、抜け出せなくなるよ。落ち込み
には近づかないことだ。



くさ き かわら なかす いし
草や木がほとんどはえてなく、石が
ゴロゴロしている河原や中州は、た
またま水が流れていないだけで、増
水すればすぐに川底に。特に中州は周りを
水で囲まれ避難出来なくなるよ。

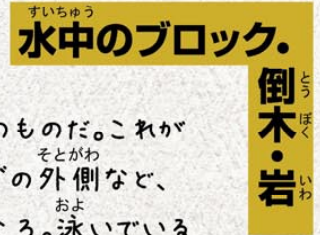


きけん
3.危険なところ

ちゅうい
こんなところに注意しよう



ね がた
根固めブロックや
水制は水の勢いか
ら川岸を守るためのものだ。これが
あるところは、カーブの外側など、
水の勢いが強いところ。泳いでいる
と自然に引き寄せられ、水の流れてブロ
ックなどに押しつけられて、自分のちか
らでは脱出できなくなることも。
泳ぐときはブロックなどに近づかず、す
ぐに逃げよう。



かわそこ
川底にはいろいろな障害物が
ある。流されてきた自転車、家
電製品、ハリガネ、ガラス、木の枝、竹
など。水に入るときはサンダルではなく
足全体が隠れる靴をはこう。



なが
流れがゆるやかなところは、石で
はなく泥や砂がたまってる。
泥は足がとられて、抜け出せなくなるよ。
川岸の砂は崩れるので、注意しようね。

